

全国安全週間に合わせて建設現場の 安全パトロールを実施しました

令和4年7月4日



伊藤所長（左から2番目）から現場状況の説明を受ける大久保署長（右から2番目）

令和4年7月4日、鹿嶋労働基準監督署（署長 大久保一樹）は、全国安全週間（7月1日から7日まで）に合わせて、建設現場の安全パトロールを実施しました。

パトロール先は、鹿嶋地方事務組合が発注し、神栖市内で三菱重工環境・化学エンジニアリング（株）が施工する新可燃ごみ処理施設整備事業の現場であり、当日は下請12社、作業員約50人により鉄骨建て方、壁の型枠の組立て等の作業が行われていました。

パトロールでは、全国安全週間における安全意識高揚のための取組事項、高所作業による墜落・転落災害の防止対策、熱中症及び新型コロナウイルス感染症の予防対策を重点的に確認しました。

鹿嶋労働基準監督署では、引き続き、全国安全週間を契機とした事業場の安全衛生活動のより一層の充実、関係者の安全意識の高揚等の取組みを推進していきます。